



add.02 評価試験



(試験内容)

- ① 刺激反応速度
- ② 可動域
- ③ 重心の移動距離
- ④ カロリー消費量・心拍数
- ⑤ 筋活動量

被験者数：20名

アイテム：add.02 素材入りTシャツ

試験日：2024年11月29日

試験機関：

ユニチカガーメンテック株式会社

リサーチラボ事業本部

伊藤忠ファッションシステム

HC Lab

少ない運動量（カロリー・心拍・筋活動量）で、
パフォーマンス向上（反応速度、柔軟性、体幹）が期待できる
デイリーアクティブテクノロジー「add.02」。



向上

反応速度 柔軟性 体幹

軽減

カロリー 心拍 筋活動量

Add.02 のウェアを着用することで、反応速度・柔軟性が向上し、
運動時のカロリー消費量や心拍数、筋活動量が減少したことで、体への負担が軽減され、疲労軽減が期待できる。
また、重心移動距離の軽減が確認できたことで体幹が向上していることが考察できる。

add.02 ウェアの着用で、反応速度が速くなり、つまずき時などの不測の事態に対し反応が早くなる効果が期待できる。

試験結果

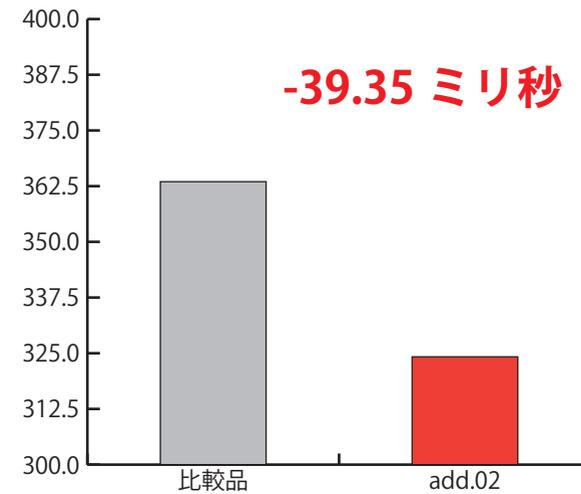
(反応速度)

39.35msec 反射反応速度が速くなった。

比較品：363.5 ミリ秒

Add.02：324.2 ミリ秒

結果：-39.35 ミリ秒



add.02 ウェアの着用で柔軟性の向上が期待できる。

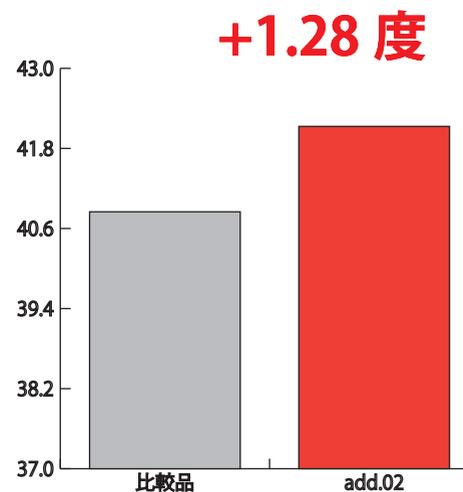
試験結果

(可動域最高角度)

比較品：40.85 度

Add.02：42.13 度

結果：+1.28 度 (可動域拡大率：8.5%)

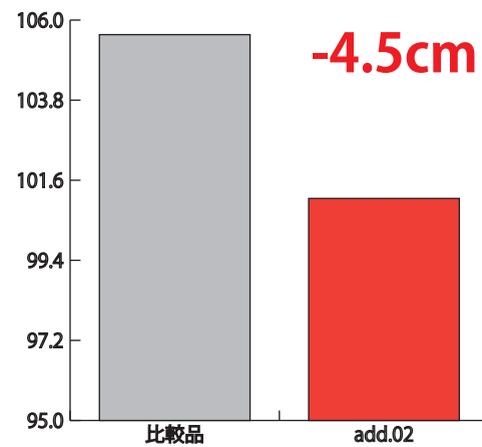


比較ウェアと比べ可動域が 1.28 度拡大 (=拡大率：8.5%)

add.02 ウェアの着用で重心移動距離の減少に繋がり、体幹バランスが良くなることが期待できる。

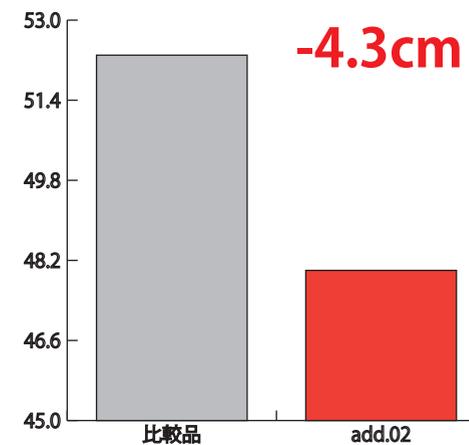
試験結果

床上「片足立ち / 閉眼」



比較品：105.6 (cm)
Add.02：101.1 (cm)
結果：-4.5 (cm)

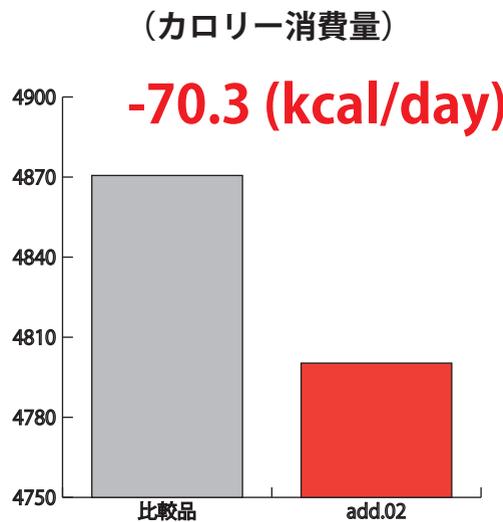
バランスボード「両足 / 開眼」



比較品：52.3 (cm)
Add.02：48.0 (cm)
結果：-4.3cm

add.02 ウェアの着用で、運動時におけるカロリー消費量・心拍数ともに減少する効果が得られ、体への負担を軽減する可能性が示唆される。

試験結果

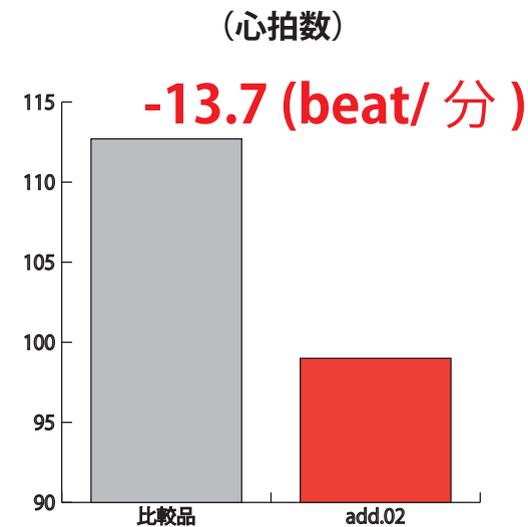


カロリー消費量

比較品：4,870.6 (kcal/day)

Add.02：4,800.3 (kcal/day)

結果：-70.3 (kcal/day)



心拍数

比較品：112.7 (beat/分)

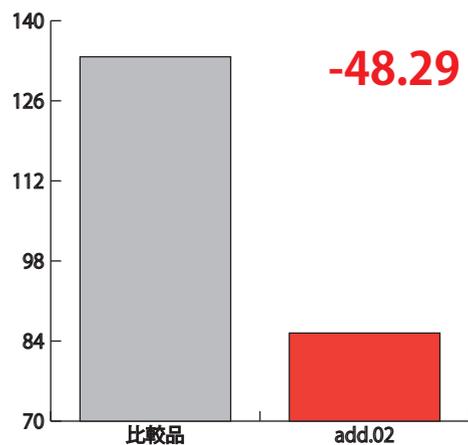
Add.02：99.0 (beat/分)

結果：-13.70 (beat/分)

add.02 ウェアの着用で筋活動量の減少により、運動効率が向上し、疲労軽減に繋がると示唆される。

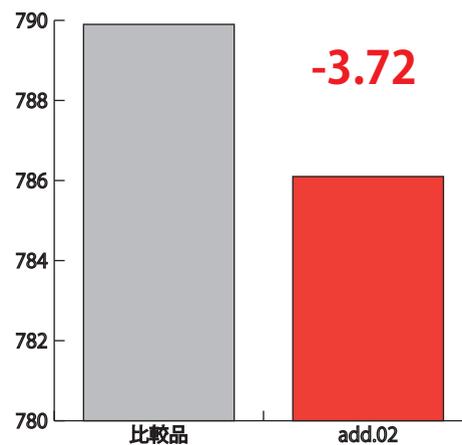
試験結果

(腹直筋)



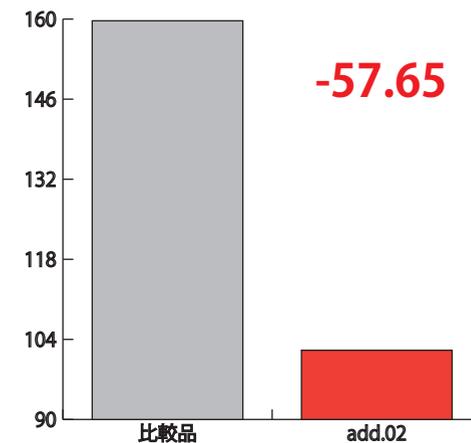
比較品：133.7(ミリV・ミリ秒)
Add.02：85.4(ミリV・ミリ秒)
結果：-48.29(ミリV・ミリ秒)

(僧帽筋)



比較品：789.9(ミリV・ミリ秒)
Add.02：786.1(ミリV・ミリ秒)
結果：-3.72(ミリV・ミリ秒)

(脊柱起立筋)



比較品：159.7(ミリV・ミリ秒)
Add.02：102.1(ミリV・ミリ秒)
結果：-57.65(ミリV・ミリ秒)

体幹主要部位において筋活動量が大きく減少。